

香取市都市計画マスタープラン 第1回 地域別懇談会

▼次 第

1. 開 会
2. 主催者あいさつ
3. 出席者紹介
4. 地域別懇談会開催の趣旨説明
5. 懇談内容
 - (1)都市計画マスタープランについて
 - (2)市及び各区の現況と課題
 - (3)意見交換
6. 閉会

香取市都市計画マスタープランの策定体制

【策定委員会】：市民、学識経験者、行政により構成
※都市計画マスタープランの内容を検討する機関

【地域協議会】

【地域別懇談会】

【市民】

・各区で開催

・広報等

※都市計画マスタープランの検討内容を説明するとともに、ご意見をいただきます。

【香取市】

- ・「庁内検討部会」を設置し、総合計画等の将来計画を踏まえ、検討していきます。
- ・担当部署：建設部 都市計画課 都市計画班

都市計画マスタープランとは

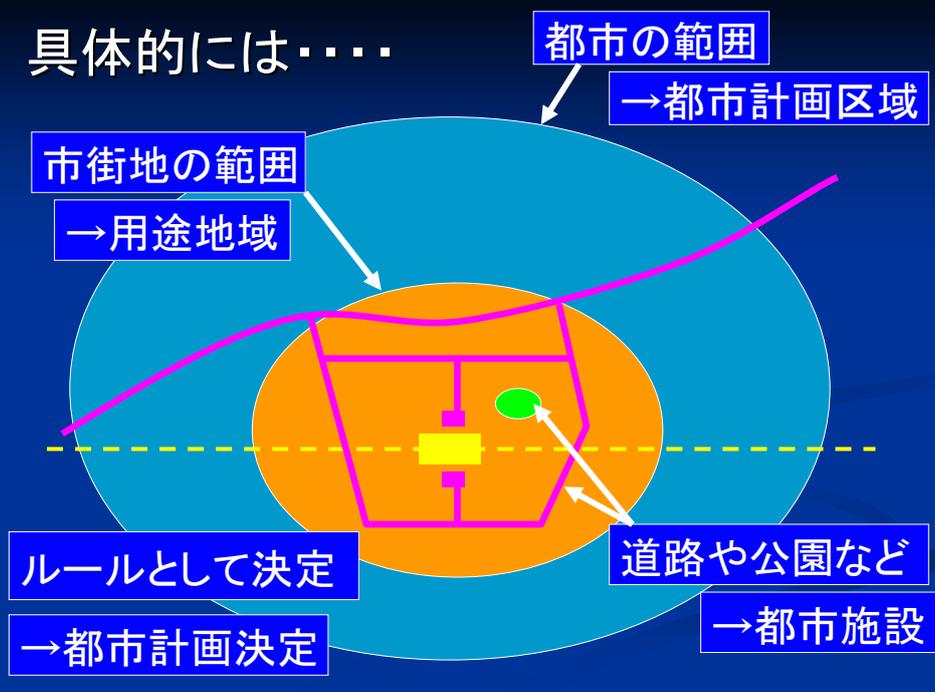
1) 都市計画とは・・・

より良い都市を形成していくためのまちづくりの基本的なルールとなるものです。

都市計画法という法律で定められています。



具体的には・・・



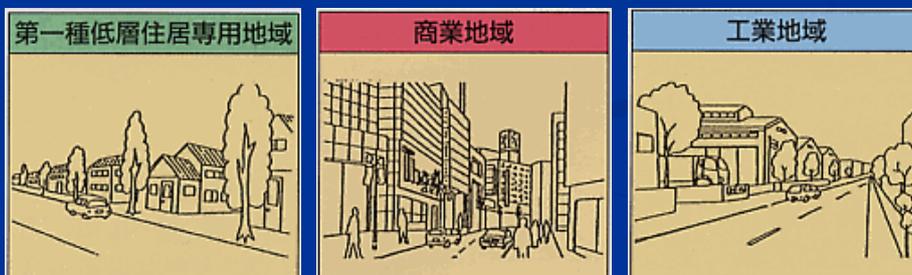
▼都市計画区域とは

人や物の動き、都市の発展の見通しなどから、一体の都市として捉え、総合的に整備・開発・保全することが必要な範囲



▼用途地域とは

・都市計画区域において、計画的に都市的土地利用を行う区域に指定



▼都市施設とは

- ・道路や公園など、都市を支える施設のこと
- ・都市計画決定により、将来的な整備が担保



▼都市計画決定とは

- 用途地域や都市施設等を法的に定めること
 - 市民の意見を十分に反映していくための手続きが必要
- ※社会経済状況等の変化に応じ、見直していくことが可能

2) 都市計画マスタープランとは・・・

- 都市計画法に定められた「市町村の都市計画に関する基本的な方針」
- 総合計画に即して定めます

総合計画の将来像

元気と笑顔があふれるまち

一人ひとりの市民が輝く
活みなぎる
やすらぎの郷
香取



3) 香取市都市計画マスタープラン について

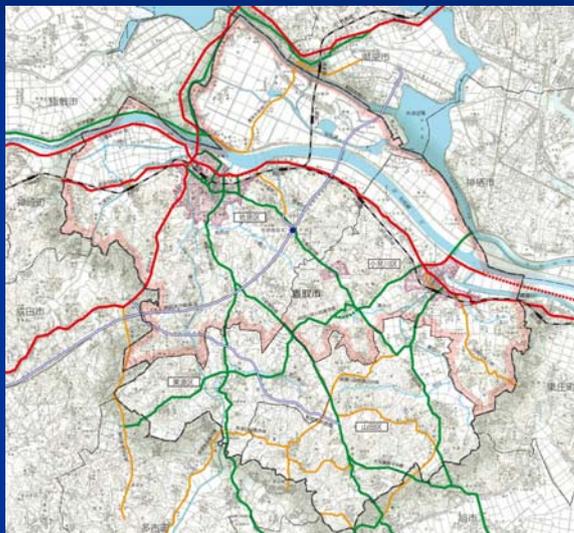
- 今後の香取市としてのまちづくりの方向性は、市域全域を対象として検討することが必要
- また、合併後の香取市のまちづくりを考える、良い機会

※香取市都市計画マスタープランでは、
香取市全域を対象に検討を行います

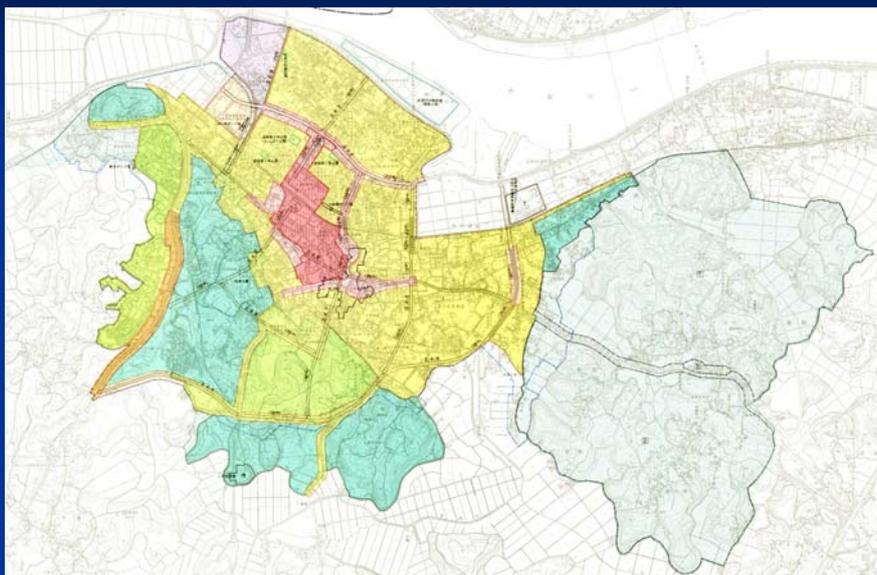
香取市の都市計画の状況

都市計画区域・・
・佐原区
・小見川区
の全域

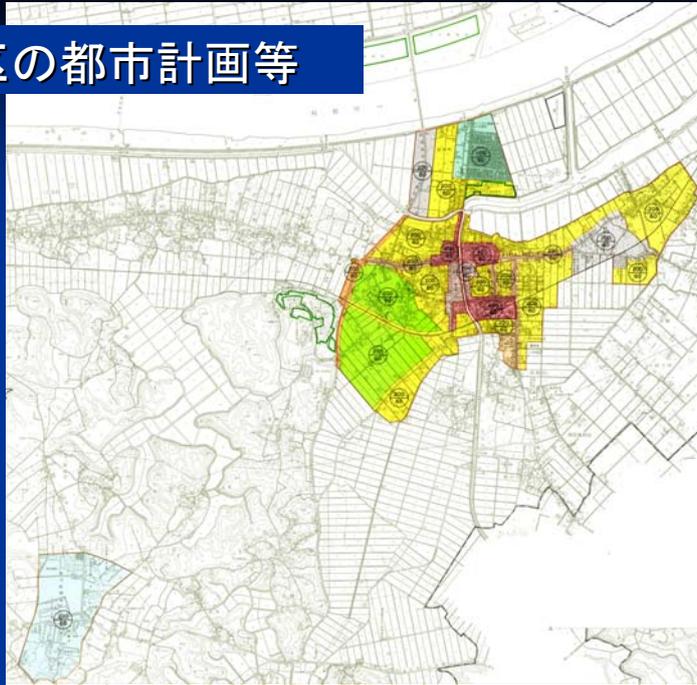
凡例	
	市域
	都市計画区域
	鉄道・駅
	自動車専用道路
	国道
	主要地方道
	河川
	緑地地域



佐原区の都市計画等



小見川区の都市計画等



香取市の現況と課題

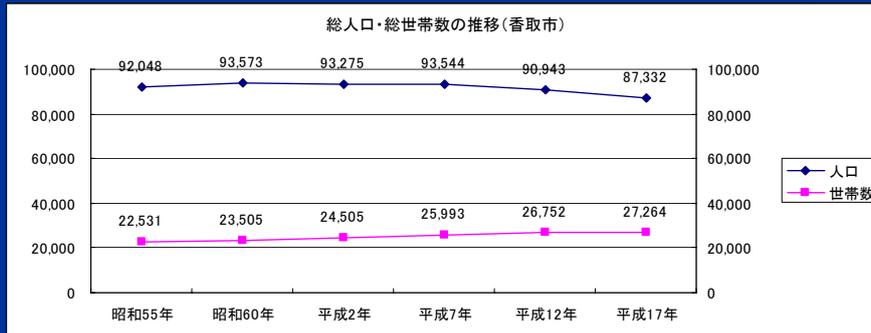
○位置

- ・東京都心から約70km圏
- ・千葉市から約50km圏
- ・成田空港と鹿島臨海工業地帯の中間
- ・市域面積は262.31km²（県で4番目）

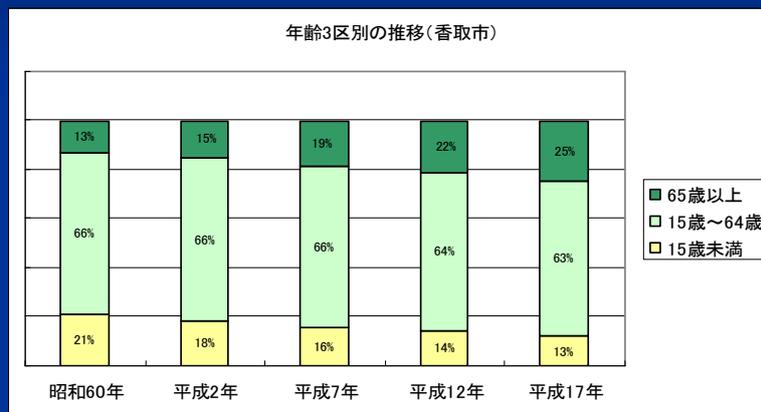


○人口

- ・人口:87,372人、世帯数:27,264世帯
(平成17年国勢調査)
- ・人口は平成7年以降、減少している。

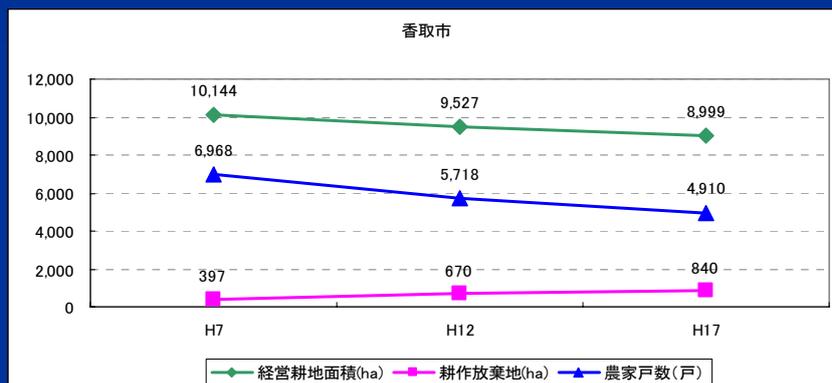


- ・高齢化が進行している



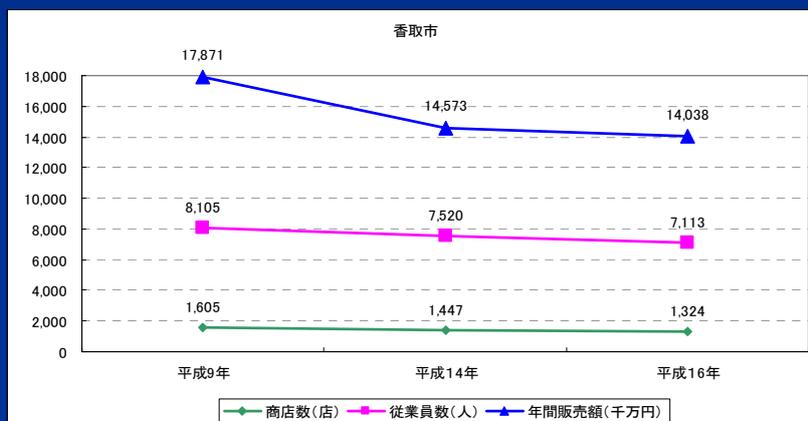
○産業 [農業]

- ・経営耕地面積、農家数は減少、耕作放棄地は増加



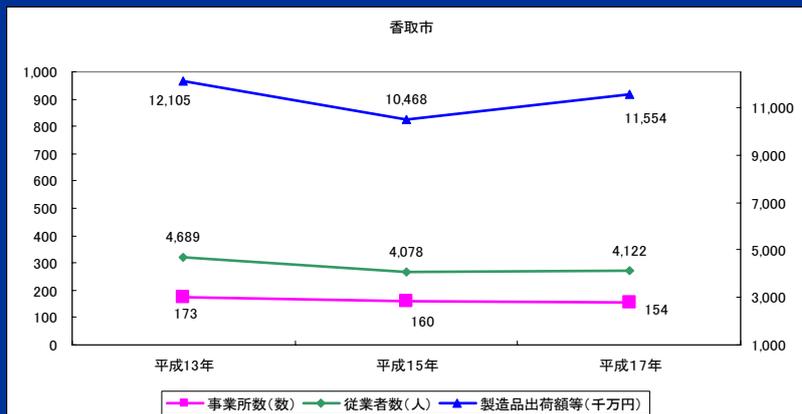
○産業 [商業]

- ・商店数、従業者数、年間販売額は減少



○産業 [工業]

・事業所数は減少、従業者数、製造品出荷額等は増加



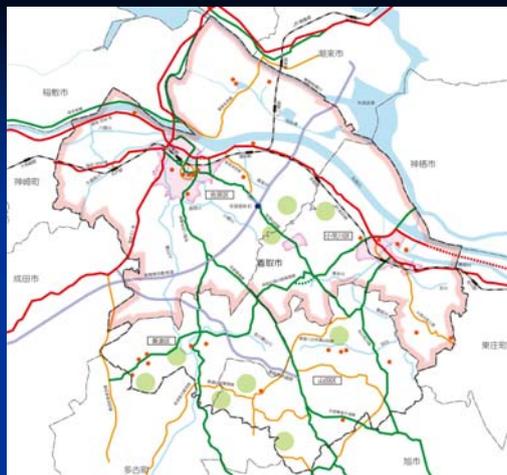
○産業 [観光]



佐原の大祭



香取神宮



道の駅くりもと 紅小町の郷

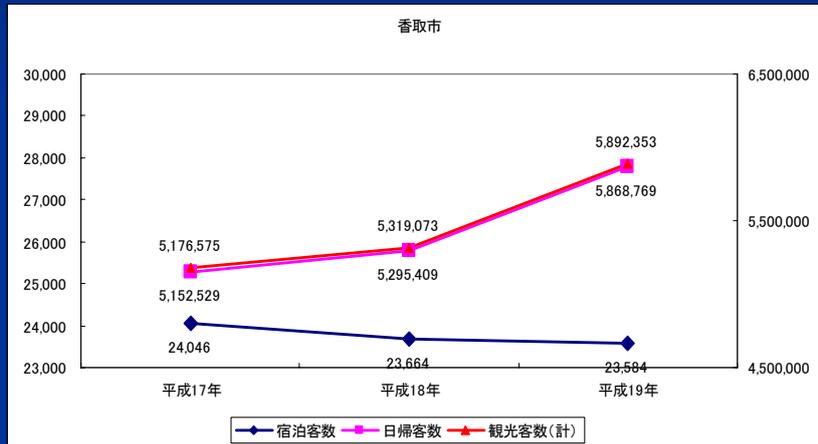


鯉のぼりまつり



城山公園

- ・観光客数は増加
- ・ほとんどが日帰客で、宿泊客は減少



○土地利用

- ・農地、山林が市域の約7割



○商業地

- ・佐原駅、小見川駅周辺および国県道等の沿道に形成
- ・空洞化など、機能が低下している。



佐原駅周辺



沿道商業



小見川駅周辺

○工業地

- ・小見川工業団地が形成されている。その他にまとまった工業地はない。
- ・新たな企業誘致先となる用地の確保が課題

小見川工業団地



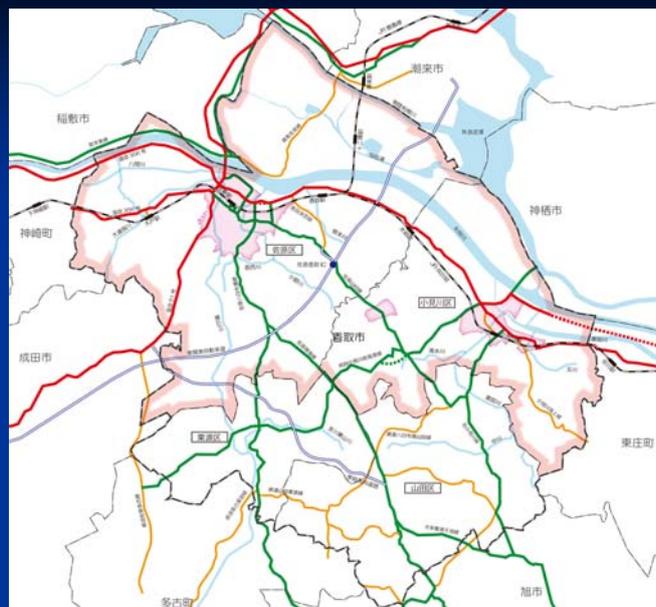
○住宅地

- ・市街地（用途地域）や田園の中に多様な住宅地が形成
- ・立地条件や周辺の環境に配慮した住環境の向上をはかることが課題



○交通

凡例	
	市域
	都市計画区域
	鉄道・駅
	自動車専用道路
	国道
	主要地方道
	県道
	用途地域



- ・利根川を横断する橋梁付近など、市街地で渋滞が発生
- ・市内を連絡する道路網の形成(国道356号バイパスの整備など)



国道356号バイパス

- ・市街地周辺は一方通行が多く、わかりにくい



- ・都市計画道路(17路線)
改良率:約41%
(佐原区、小見川区)



○公共交通

- ・ 鉄道利用者の減少
- ・ 佐原駅、小見川駅の老朽化、バリアフリー化対策および駅利用者の利便性の向上



佐原駅

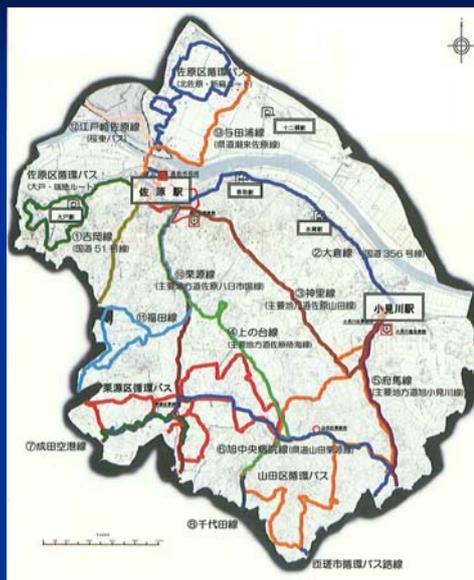


小見川駅

- ・ 路線バスの利用者の減少、運行路線・便数の減少

佐原区循環バス	—
・ 北佐原ルート	—
・ 大戸・瑞穂ルート	—
・ 共通ルート	—
山田区循環バス	—
栗原区循環バス	—

①吉岡線	—
②大倉線	—
③神楽線	—
④上の台線	—
⑤白馬線	—
⑥船中央病院線	—
⑦成田空港線	—
⑧千代田線	—
⑨与田清線	—
⑩家原線	—
⑪船田線	—
⑫江戸崎在野線	—



○公園・緑地・水辺空間

- ・計画的な公園整備を進めることが課題
- ・市南部の緑や利根川、与田浦、黒部川等の水辺空間の保全と活用が課題



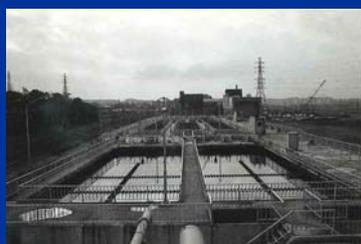
公園のイメージ



水辺空間(与田浦)

○上水・下水

- ・水道普及率の向上と施設の老朽化対策
- ・計画的な污水处理対策が課題



下水処理場



農業集落排水処理施設

○景観

- ・市街地内の歴史的な町並み、田園風景、水郷地帯など、良好な景観の維持・保全



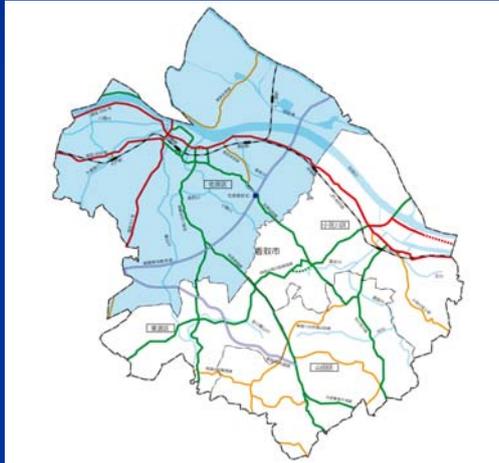
歴史的な町並み



田園風景

佐原区の現況と課題

- 区の面積 : 119.88km²(市域の約46%)

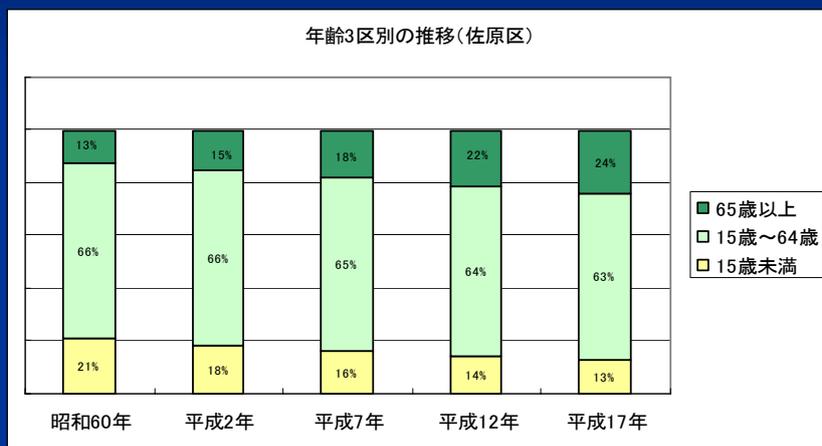


○人口

- ・人口 : 45,965人(市の約53%)
- ・世帯数 : 14,776世帯(市の54%) (H17国勢調査)
- ・平成7年以降、人口は減少しています。

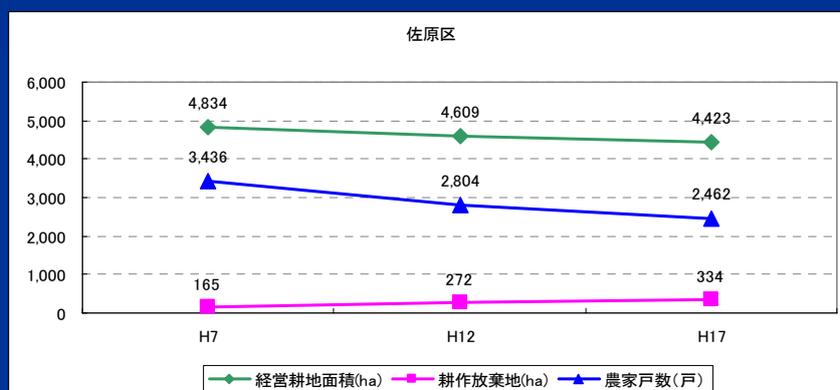


・高齢化の進行



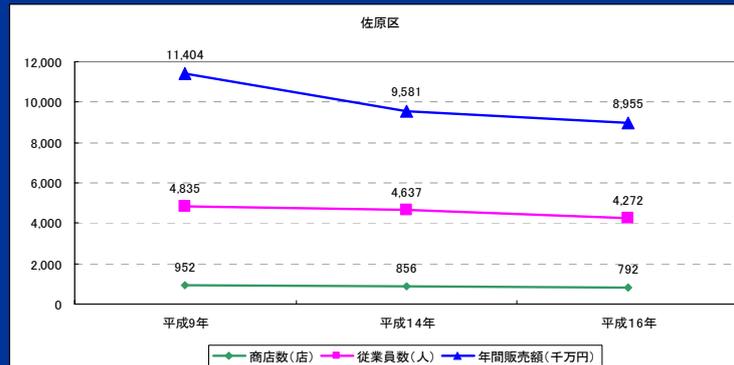
○産業 [農業]

・経営耕地面積、農家戸数は減少、耕作放棄地は増加



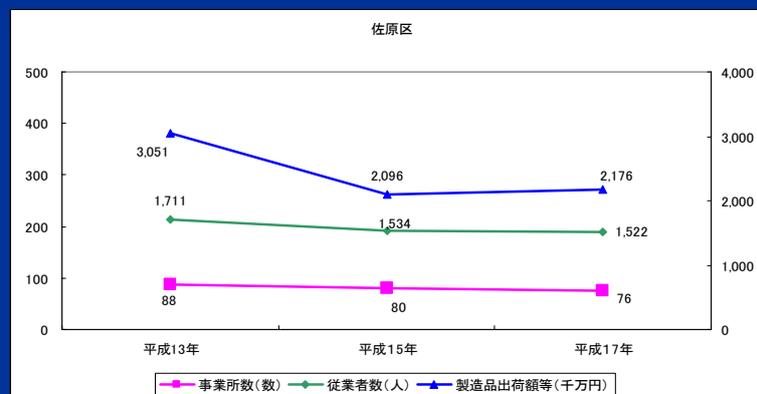
○産業 [商業]

- ・市内で最も商業機能が集積
- ・商店数、従業者数、年間販売額は減少
- ・商業機能の強化が課題



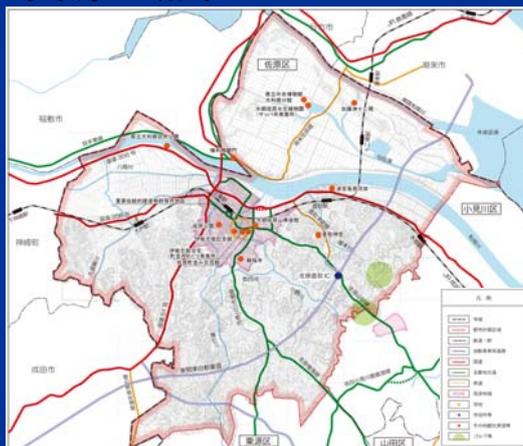
○産業 [工業]

- ・事業所数、従業者数は減少、製造品出荷額等は増加



○産業 [観光]

- ・香取神宮、水郷佐原水生植物園、小野川沿いなど多様な観光資源が点在



- ・香取神宮、水郷佐原水生植物園の観光客数はわずかに減少
- ・小野川沿いは、活発な市民活動等もあり、観光客数は増加
- ・観光資源の魅力の向上、また、各観光資源のネットワーク化が課題



○土地利用

- ・農地、山林等が区域の約7割

※香取神宮周辺、佐原公園周辺には、良好な自然環境を維持する風致地区が指定



○商業地

- ・佐原駅周辺および国道等の沿道に形成

- ・中心市街地の活性化など、商業機能の充実が課題
 - 佐原本宿耕地地区の整備
 - 主要な道路沿道の活用



○工業地

- ・まとまった工業地はなく、小規模な事業所等が点在
- ・企業誘致先となる用地の確保が課題

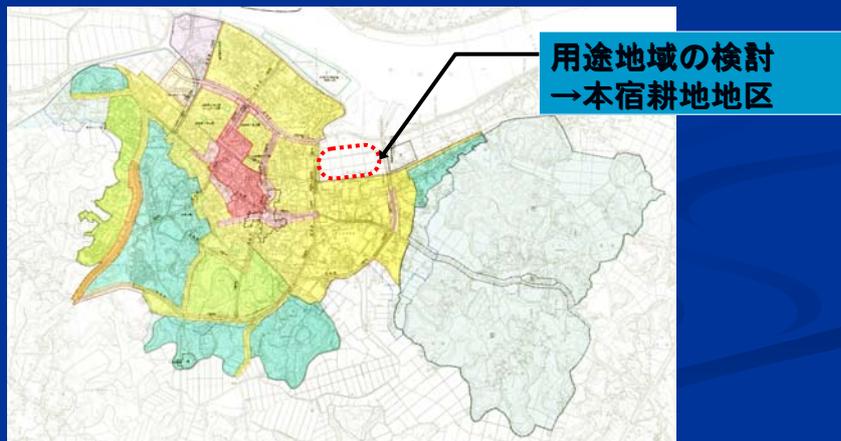


○住宅地

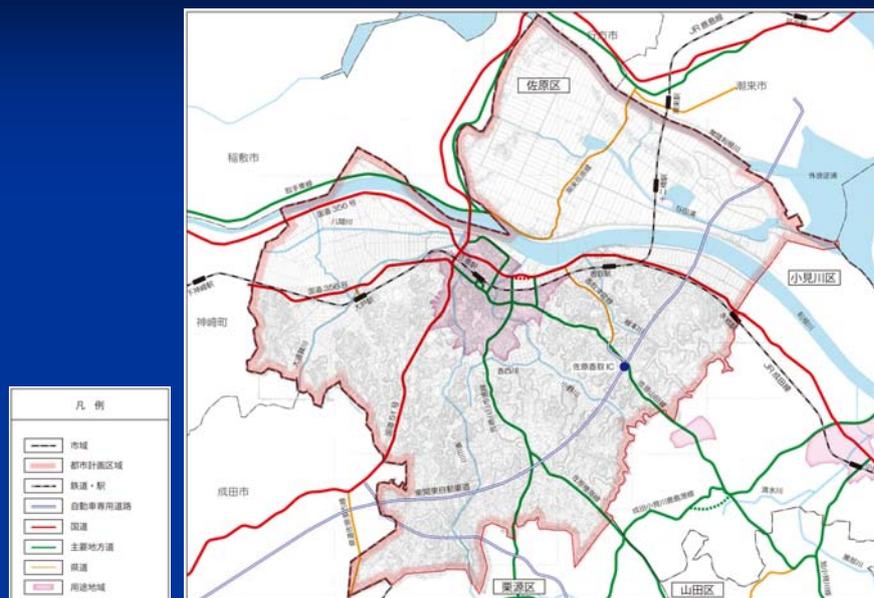
- ・用途地域内や田園の中に形成
- 市街地の密集住宅地の改善
- 田園型居住地の住環境の維持、向上



- ・用途地域(約6.75km²)が指定
→佐原本宿耕地地区など、土地利用に合わせた用途地域の見直しが課題



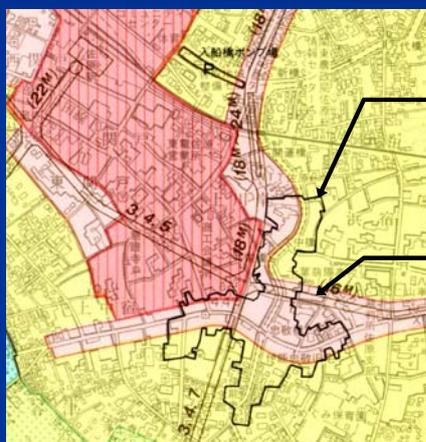
○交通



- ・水郷大橋付近など市街地で渋滞が発生
- ・市街地内は一方通行が多く、わかりにくい。
- ・幅員の狭い未改良区間があり、排水機能がない道路も多い。



- ・佐原区都市計画道路9路線の改良率:約39%
→未整備区間の必要性、実現性の検討が課題
(小野川沿いの町並みとの調和など)



小野川沿いの歴史的まちなみ
重要伝統的建造物群保存地区

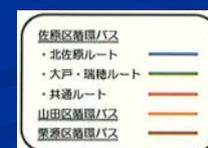
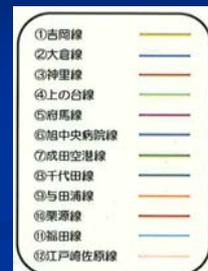
都市計画道路未整備区間

○公共交通

- ・鉄道利用者の減少
- ・佐原駅の老朽化、バリアフリー化対策と利用者の利便性の向上



- ・路線バスの利用者の減少、運行路線・便数の減少



○公園・緑地・水辺空間

- ・計画的な公園整備を進めることが課題
- ・利根川、与田浦等の水辺空間等の保全と活用



○上水・下水

- ・水道普及率の向上と施設の老朽化対策
- ・計画的な污水处理対策が課題

○景観

- ・歴史的な景観、香取神宮周辺等の良好な緑、水郷地帯など、良好な景観の維持・保全



○香取市都市計画マスタープランの 策定について

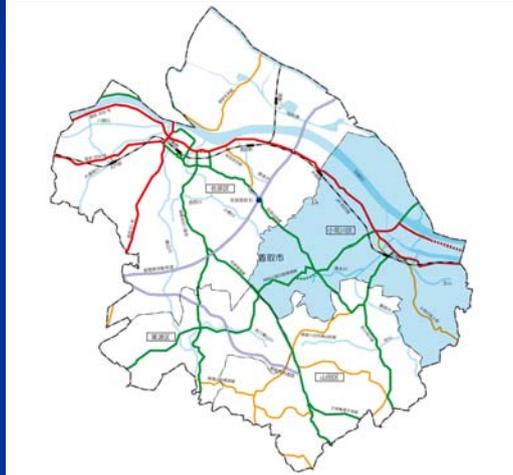
このマスタープランは、市民の皆さんのご意見を踏まえ、作成を進めていきます。

今後も、ご協力、よろしくお願い致します。

香取市 都市計画課

小見川区の現況と課題

- 小見川区の面積 : 61.84km²(市域の約24%)

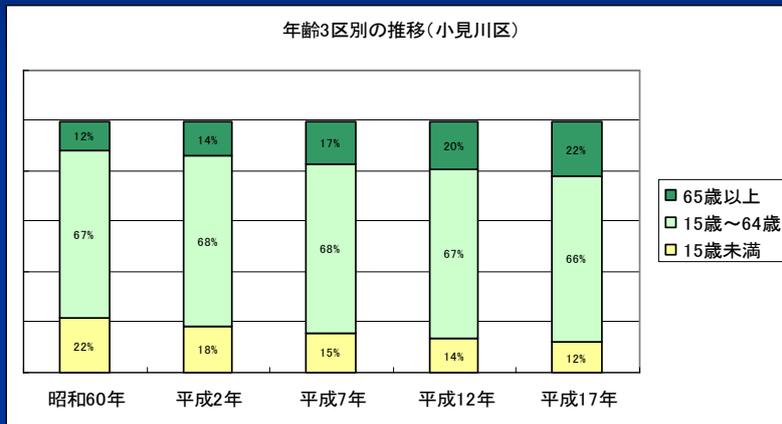


○人口

- ・人口 : 25,399人(市の約29%)
- ・世帯数 : 8,174世帯(市の約30%) (H17国勢調査)
- ・平成7年以降、人口は減少しています。

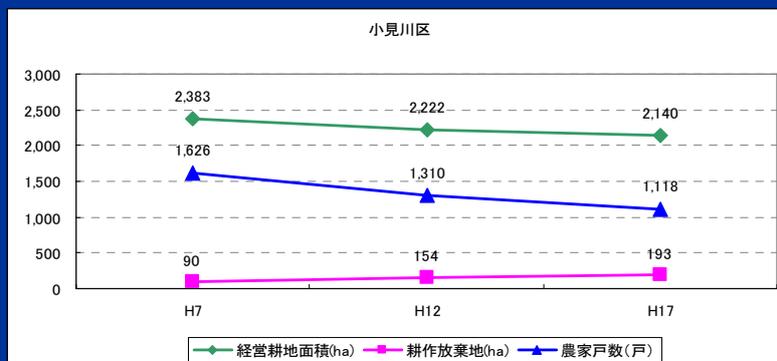


・高齢化の進行



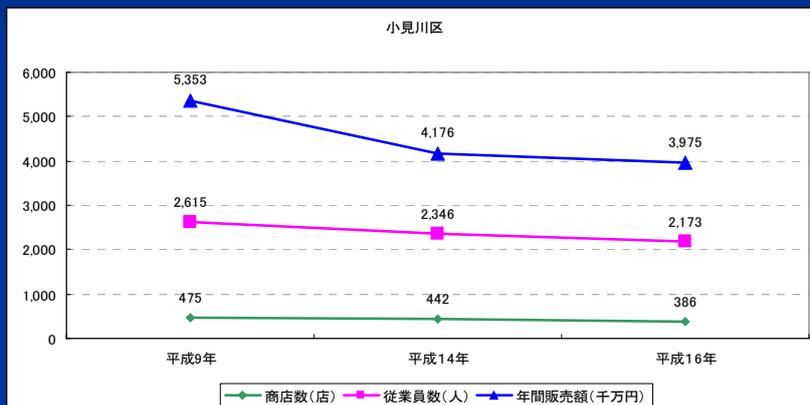
○産業 [農業]

・経営耕地面積、農家数は減少、耕作放棄地は増加



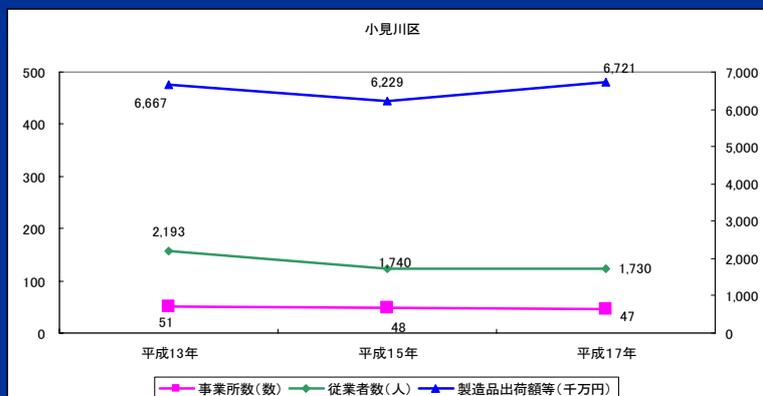
○産業[商業]

・商店数、従業者数、年間販売額は減少



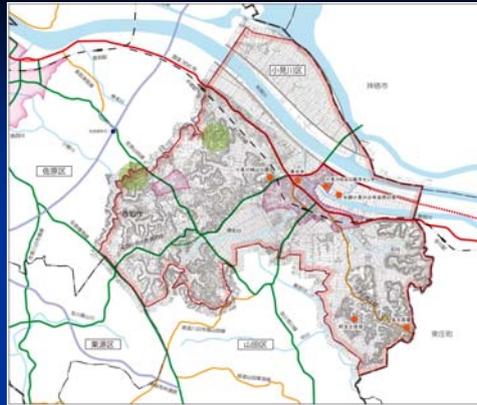
○産業[工業]

・事業所数、従業者数は減少、製造品出荷額等は増加

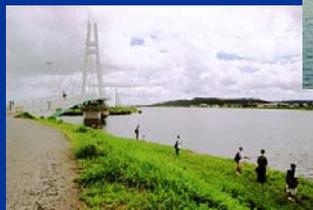


○産業[観光]

- ・主な観光資源は、
小見川城山公園、
花火大会など



- ・小見川城山公園の観光客は横ばい
(年間約30,000人)
- ・観光客数は、他区と比べて最も少ない。
- ・黒部川やまほろばの里等の既存の観光資源の
活用や新たな観光資源の発掘が課題



○土地利用

- ・農地、山林等が区域の約6割

○商業地

- ・小見川駅周辺および本郷・野田地区などの主要な道路沿道に形成

→小見川駅周辺では住宅の建設が進展



○工業地

- ・区の西側に小見川工業団地が整備されているが、その他にはまとまった工業地はない

→小見川工業団地の活性化、新たな企業誘致先の確保が課題



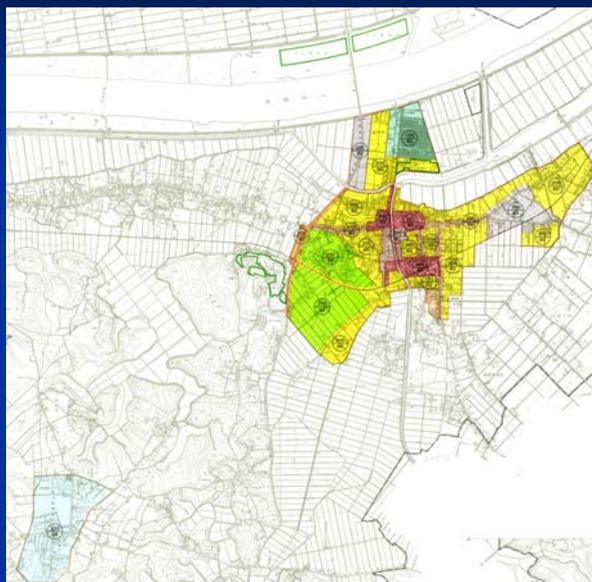
○住宅地

- ・用途地域内や田園の中に形成
→周辺の環境に配慮しつつ、住環境の
向上をはかることが課題



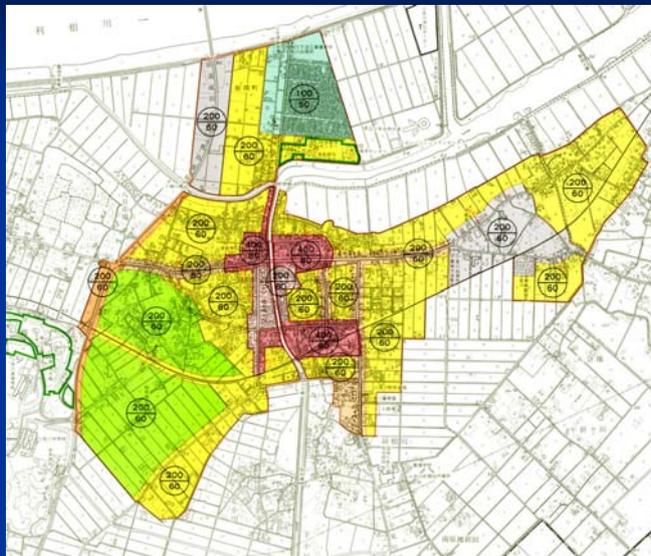
- ・用途地域(約3.80km²)が指定

凡 例	
用途地域	①
都市計画区域	②
用途地域界	③
第一種低層住居専用地域	④
第一種中高層住居専用地域	⑤
第一種住居地域	⑥
第二種住居地域	⑦
準住居地域	⑧
近隣商業地域	⑨
商業地域	⑩
準工業地域	⑪
工業地域	⑫
準公共用地	⑬
都市計画公園及緑地	⑭
都市計画区域外	⑮
下水道未処理地	⑯
都市計画道路	⑰
路線式指定通行(10)	⑱



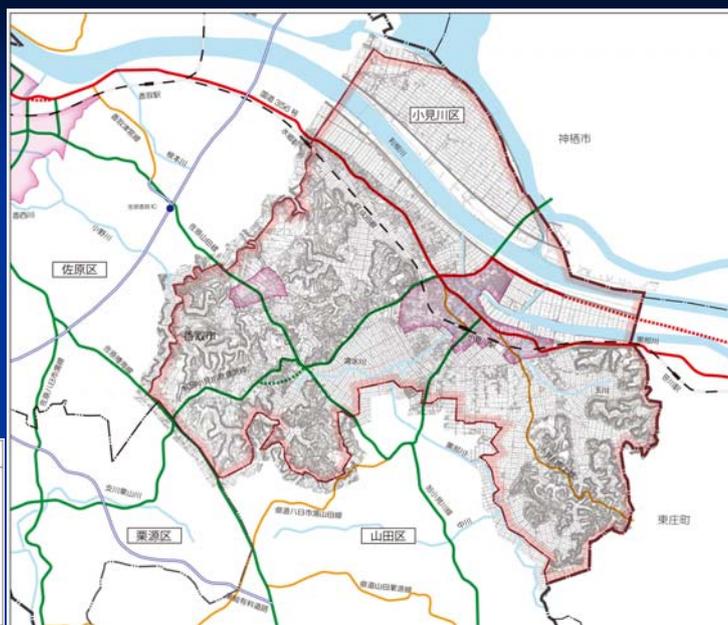
・用途地域（小見川駅周辺）

凡例	
用途地域	○
都市計画区域	—
指定地域	—
第一種低層住居専用地域	○
第一種中高層住居専用地域	○
第一種住居地域	○
第二種住居地域	○
準住居地域	○
近隣商業地域	○
商業地域	○
準工業地域	○
工業地域	○
準誘導地域	○
都市計画公園緑地	○
都市計画内処理地	○
下水道種米処理地	○
都市計画道路	○
路線式指定集計 (m)	○



○交通

凡例	
市域	—
都市計画区域	—
鉄道・駅	—
自動車専用道路	—
国道	—
主要地方道	—
県道	—
市道	—



- ・小見川大橋の橋梁付近など市街地で渋滞が発生
- ・幅員の狭い未改良区間があり、排水機能がない道路も多い。
- ・都市計画道路8路線の改良率:約45%
→未整備区間の必要性、実現性の検討が課題



○公共交通

- ・鉄道利用者の減少
- ・小見川駅の老朽化、バリアフリー化対策と利用者の利便性の向上



・路線バスの利用者の減少、運行路線・便数の減少

①志岡線	—
②大倉線	—
③神里線	—
④上の台線	—
⑤府馬線	—
⑥船中央病院線	—
⑦成田空海線	—
⑧千代田線	—
⑨与田浦線	—
⑩常葉線	—
⑪福田線	—
⑫江戸崎在野線	—
庄原区循環バス	—
・北夜類ルート	—
・大戸・瑞穂ルート	—
・共通ルート	—
山田区循環バス	—
栗原区循環バス	—



○公園・緑地・水辺空間

- ・計画的な公園整備を進めることが課題
- ・緑や利根川、黒部川等の水辺空間の保全と活用



○上水・下水

- ・水道普及率の向上と施設の老朽化対策
- ・計画的な汚水処理対策が課題

○景観

- ・黒部川沿いの町並み、良好な緑、水郷地帯などの良好な景観の維持・保全



○香取市都市計画マスタープランの
策定について

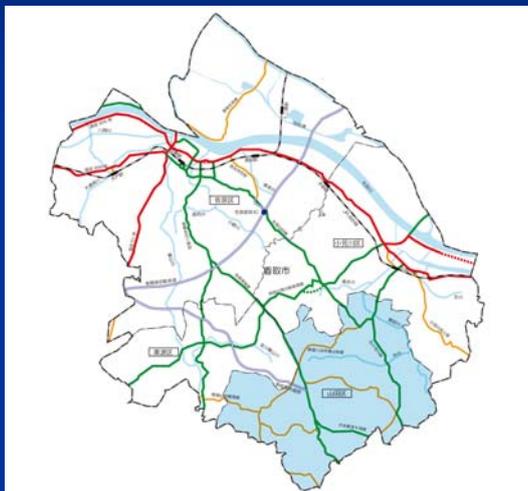
このマスタープランは、市民の皆さんのご意見を踏まえ、作成を進めていきます。

今後も、ご協力、よろしくお願い致します。

香取市 都市計画課

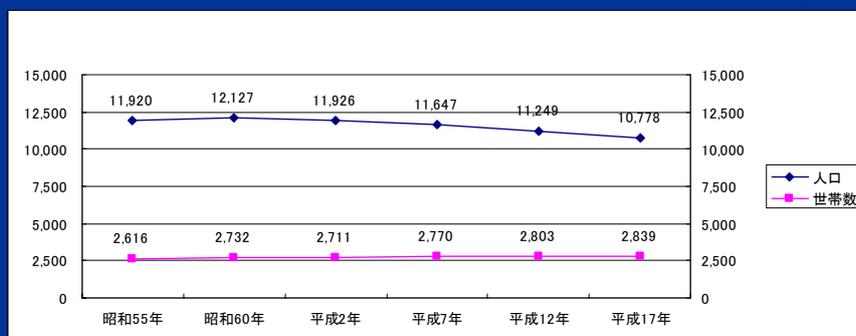
山田区の現況と課題

- 区の面積 : 51.54km²(市域の約20%)

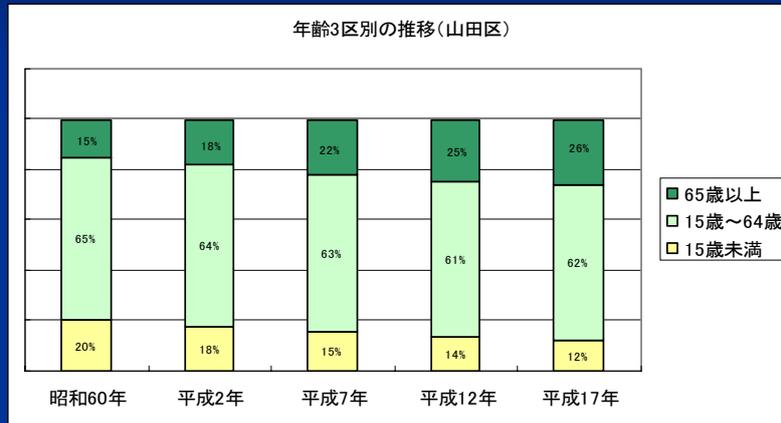


○人口

- ・人口 : 10,778人(市の約12%)
- ・世帯数 : 2,839世帯(市の約10%) (H17国勢調査)
- ・昭和60年以降、人口は減少しています。

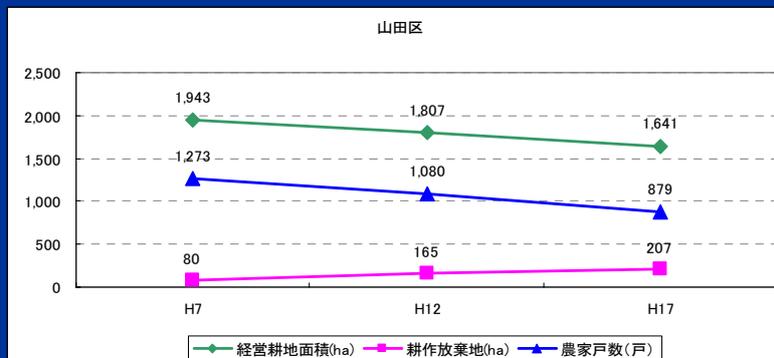


・高齢化の進行



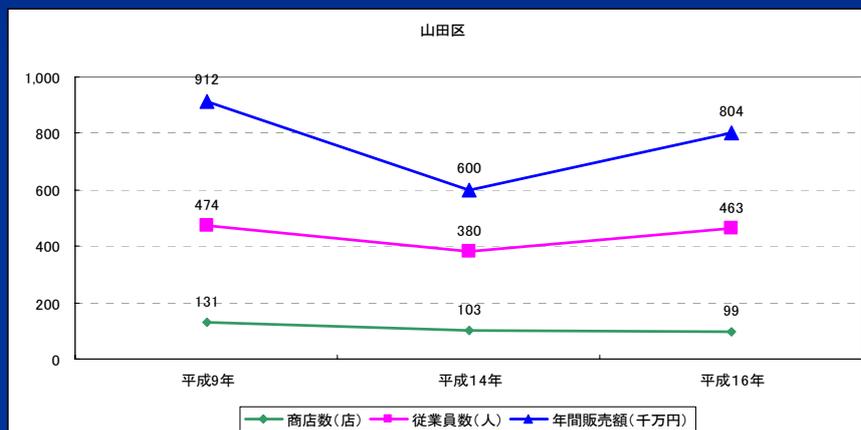
○産業[農業]

- ・経営耕地面積、農家数は減少、耕作放棄地は増加



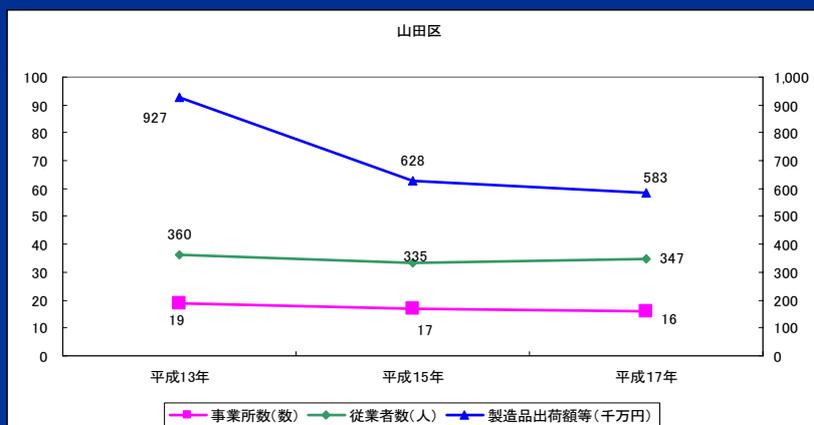
○産業[商業]

・商店数は減少、従業者数、年間販売額は増加



○産業[工業]

・事業所数、製造品出荷額等は減少、従業者数は増加



○産業[観光]

- ・主な観光資源は(有)風土村、橘ふれあい公園等
- ・(有)風土村、橘ふれあい公園への観光客数はわずかに減少



- ・(有)風土村は年間約20万人と市にとっても貴重な観光資源となっている。
- ・農業との連携など、観光資源の魅力の向上が課題



○土地利用

- ・農地、山林等が区域の約7割



○商業地

- ・大規模な商業施設やまとまった商業地はなく、小規模な商店が点在
- ・(有)風土村は観光客等の利用も多く、観光拠点となっている。
- ・生活サービスを担う商業機能の充実が課題



○工業地

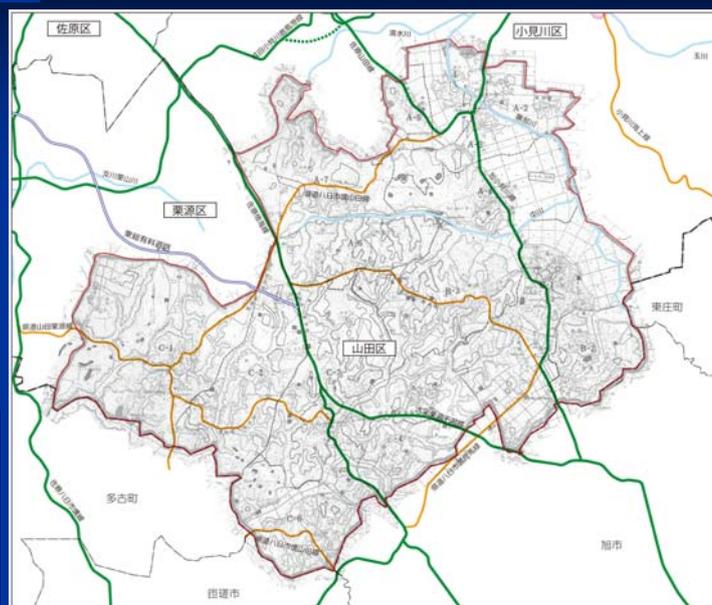
- ・区内に点在する既存工場の維持、活性化
- ・新たな産業の誘致についての検討が課題

○住宅地

- ・昔からの集落を中心に形成
- ・周辺の環境に配慮しつつ、住環境の向上をはかることが課題



○交通



・幅員の狭い未改良区間があり、排水機能がない道路も多い。



○公共交通

・路線バスの運行路線・便数の減少



○公園・緑地・水辺空間

- ・橘ふれあい公園の魅力の向上
- ・山林や田園等の良好な環境の保全
- ・「まほろばの里」の活用



○上水・下水

- ・水道普及率の向上
- ・計画的な汚水処理対策が課題



○景観

- ・一団の農地や谷津田などの良好な景観の維持・保全



○香取市都市計画マスタープランの 策定について

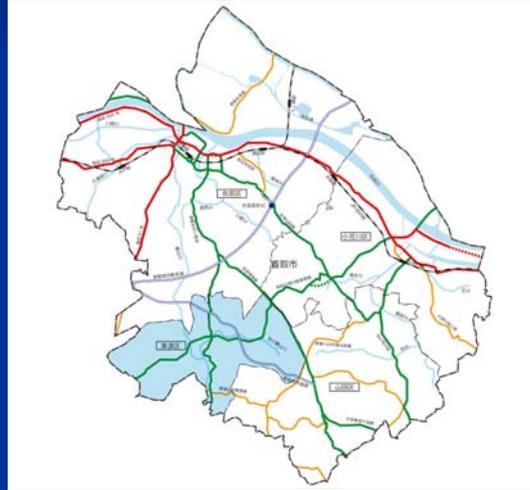
このマスタープランは、市民の皆さんのご意見を踏まえ、作成を進めていきます。

今後も、ご協力、よろしくお願い致します。

香取市 都市計画課

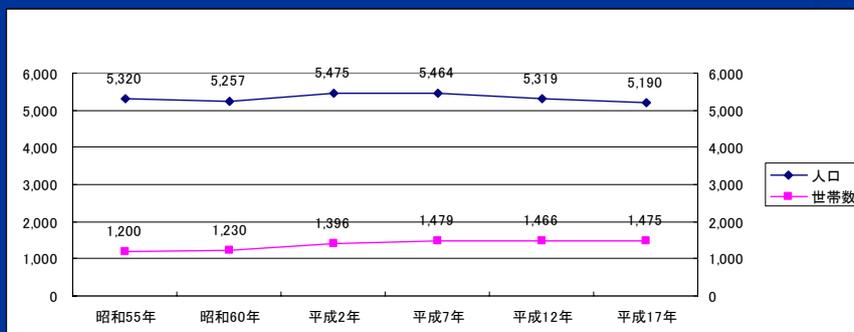
栗源区の現況と課題

- 区の面積 : 29.05km²(市域の約11%)

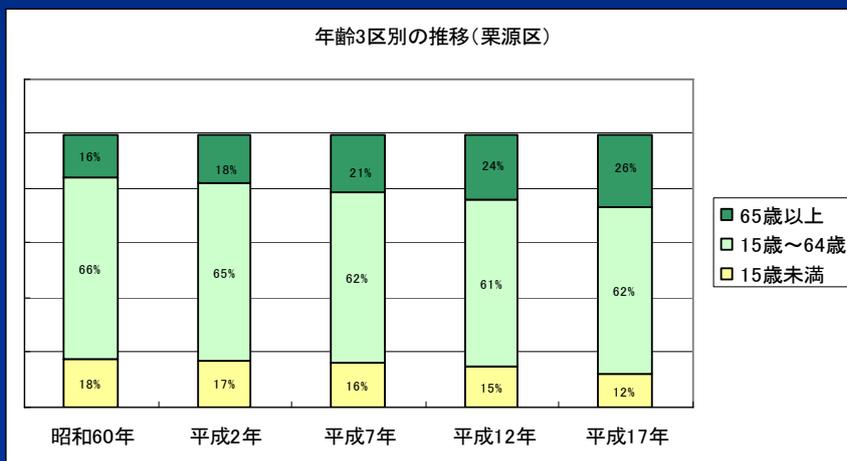


○人口

- ・人口: 5,190人(市の約6%)
- ・世帯数: 1,475世帯(市の約5%) (H17国勢調査)
- ・平成2年以降、人口は減少しています。

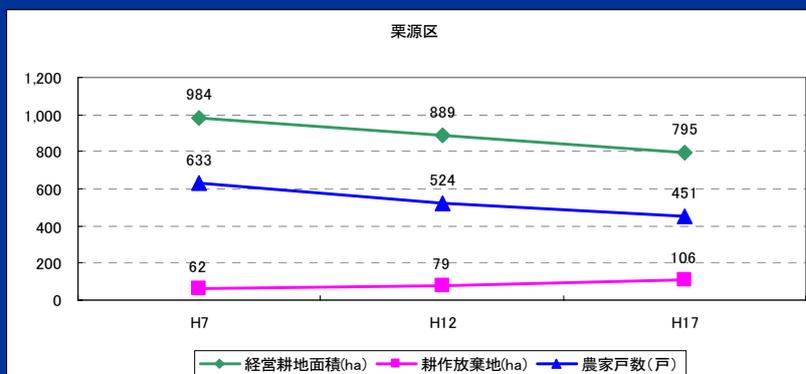


・高齢化の進行



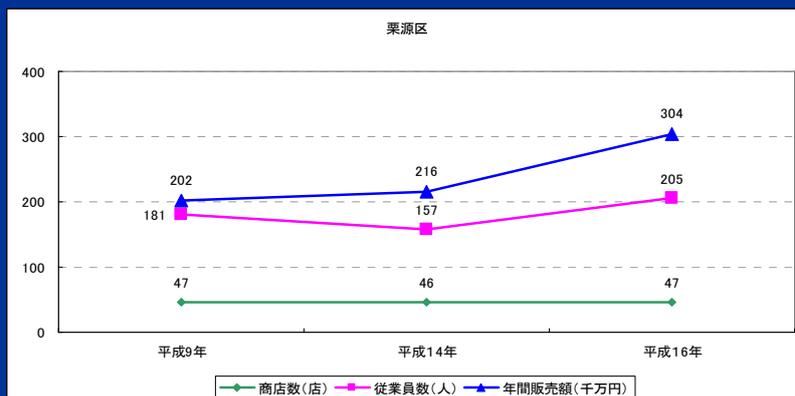
○産業[農業]

・経営耕地面積、農家数は減少、耕作放棄地は増加



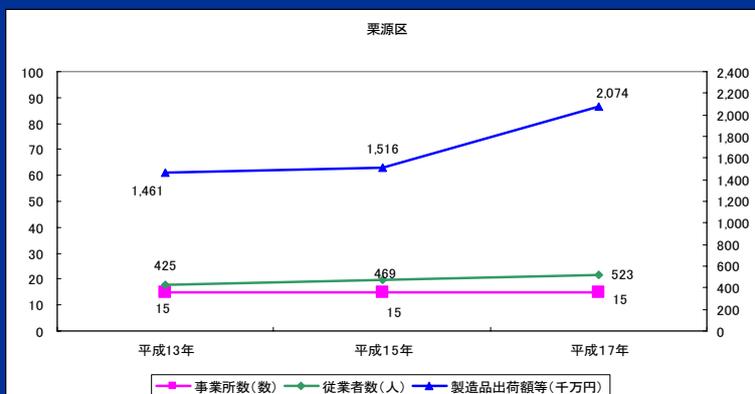
○産業[商業]

- ・商店数は横ばい、従業者数、年間販売額は増加



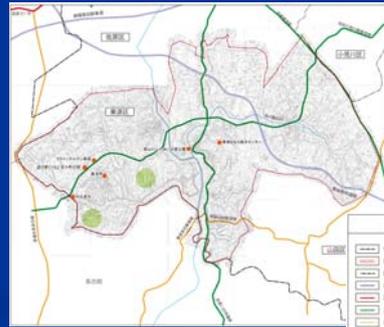
○産業[工業]

- ・事業所数は横ばい、従業者数、製造品出荷額等は増加



○産業[観光]

- ・主な観光資源は、道の駅くりもと、クラインガルデン栗源など
- ・道の駅くりもとの観光客は増加
- ・農業と連携した観光機能の充実や新たな観光資源の発掘が課題



○土地利用

- ・農地、山林等が区域の約7割



○商業地

- ・集落地や主要な道路沿道に小規模店舗等が点在(まとまった商業地はない)
- ・道の駅くりもとは利用者も多く、観光拠点となっている。
- ・生活サービスを担う商業機能の充実が課題



○工業地

- ・区内に点在する既存工場の維持、活性化
- ・大関地区の土砂採取跡地の一団の未利用地の有効利用の検討が課題

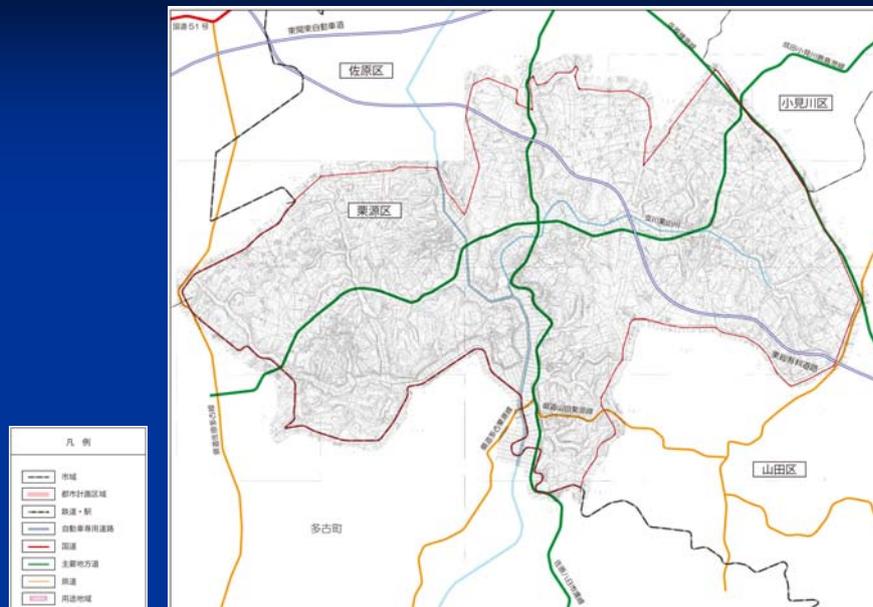


○住宅地

- ・昔からの集落を中心として形成
- ・周辺的环境に配慮しつつ、住環境の向上をはかることが課題



○交通

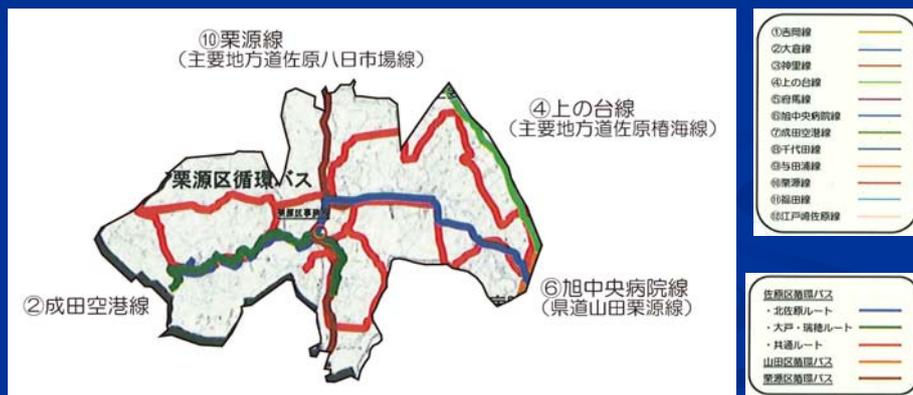


・幅員の狭い未改良区間があり、排水機能がない道路も多い。



○公共交通

・路線バスの運行路線・便数の減少



○公園・緑地・水辺空間

・栗山川ふれあいの里公園の活用
・山林や田園等の良好な環境の保全



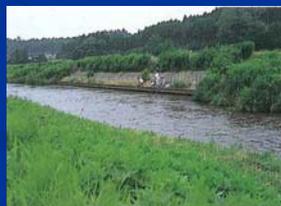
○上水・下水

- ・水道普及率の向上
- ・計画的な汚水処理対策が課題



○景観

- ・一団の農地や谷津田などの良好な景観の維持・保全



○香取市都市計画マスタープランの 策定について

このマスタープランは、市民の皆さんのご意見を踏まえ、作成を進めていきます。

今後も、ご協力、よろしくお願い致します。

香取市 都市計画課